



地域再生 協議会だより

百合が丘2-29-6 (老人憩いの家) 59-9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

31年度も支援継続

村田町長が表明、「部会再編の検討」も

村田邦子町長は、再生協議会関係者との会合で「来年度以降も再生協議会活動への財政支援を続ける」との意向を明らかにした。再生協議会の部会活動を支えている国・町の助成は今年度で期限切れになるため、事業の先行きが危ぶまれていた。協議会は町長の方針表明を受け、数カ月以内に来年度以後の事業体制の再構築案をまとめる。



村田町長

再生協議会はH28年5月の発足以来、国の地方創生戦略に基づき、地方創生加速化交付金(28年度、1,200万円、国全額)、地方創生推進交付金(29・30年度、各400万円、国町各50%)をてこに活動してきた。しかし、二宮町のH32年度までを対象にした推進交付金申請が30年度までしか認められなかったことから、31年度以降は財政上の裏付けがなくなり、事業縮小か大幅な方向転換を迫られていた。

村田町長の「支援継続表明」は協議会活動を「住民活動のモデルのひとつ」として、引き続きバックアップする必要があると判断したものと見られる。ただ、支援継続に際し、「この3年間の事業総括、自治会その他地域団体との関係について十分議論して欲しい」と注文を付けている。

再生協議会はこうした方針を受けて9日(木)に新旧の事業部会長、一色学区内の地区長、自治会長による会合を開き、来年度以降の事業・資金、組織体制の在り方などについての議論を開始する。町の次年度予算作成は10月末をめどにしていることから、これらの検討も10月中に結論を出す必要がある。

空家対策、国交省採択事業に

先に国土交通省に申請していた空家対策に関して7月末、採択事業とする旨の通知があった。近く最終的な文書手続きを行い、正式決定する。再生協議会はこの通知を受けて住民の啓発、相談員の要請を狙いにした講座の開催、改修支援体制づくりの準備に入り、10月から「利活用講座」(無料)などを連続して開催していく。

採択された事業名は、一色小学校区地域空家等循環再生事業。住み古した戸建てを貴重な資産として利用・活用し、空家を出さない町づくりを目指す。国交省によると、今

年度は全国から 132 件の応募があり、厳格な審査を経て 58 件の採択が決まった。神奈川県からの採択は当協議会のほか、いずれも全県を事業領域とする 2 団体だけだった。

提出した計画では、相談員や専門家の研修・育成、地域の専門家等との連携体制の構築が 2 本柱。このほか、開催した講座をもとにした「家仕舞・利活用読本」の制作、東海大と連携した居住実態調査等を予定している。事業費の約 150 万円は全額補助。最も重視している啓発、相談員育成講座は年度内に 10 回近く予定している。改修期を迎えた家に住む人、転居や売却・賃貸を検討している人などに参加を呼びかける。講座の拠点は一色小南棟の地域こうりゅうルームで、二宮町の協力を得て広く全町内から参加者を募集する。ゆめクラブ、社協、自治会など主要団体にも事業の趣旨を PR していく。

事業スケジュール(案)

具体的な内容	平成30年度									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家仕舞・利活用講座の企画内容検討			—							
(家仕舞・利活用講座1) 収納・断捨離術				—						
(同講座2) 資産管理 & 家仕舞期のFP(ファイナンシャル・プランニング)					—					
(同講座3) ライフサイクルに応じた住み替え & 空室・空き家の有効活用対策						—				
(同講座4) 改修工事の基礎知識							—			
(同講座5) 相続対策								—		
アメニティ・リノベーション講座とワークショップの企画内容検討					—					
(アメニティ・リノベーション講座1) 健康・エコ・持続性の向上研究						—				
(同講座2) リノベーションの事例研究							—			
専門家による断熱・省エネのDIYワークショップ開催								—		
家仕舞・利活用読本の原案作成(編集・印刷は31年度予定)									—	
居住実態調査の企画		—								
実態調査の実施と取りまとめ				—						

ピザが焼けるよ！！

バーベキューに加え、ピザもどうぞ——。古民家活用部会（松本篤子部会長）はふるさとの家庭にピザ釜を据え付け、火入れ式を行った。耐火煉瓦を高く積んだ本格派で、同時に 2 枚焼ける。材料費などに 12 万円を投じた。ふるさとの家の一般利用はバーベキューの道具貸しが多かったが、もう一つの目玉が出来た。利用料金は 1,000 円。HP で申し込む。ただ、薪は持参する。使用後は自然冷却させるなどの注意事項がある。



部会員が集まった火入れ式